



大四小だより

練馬区立大泉第四小学校

令和4年度 9月号

校長 梅津 靖子

「気付き」から次のステップへ

校長 梅津 靖子

長かった夏休みが終わり、いよいよ2学期のスタートです。9月も残暑が厳しいとの予報が出される中です。まずは、「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムをしっかりと整え、日々の健康観察に注意を払うことが大切です。また、新型コロナウイルス感染症予防の基本的な対応が、まだまだ必要な状況です。ご家庭におかれましても、お子様の毎朝の検温と健康観察に合わせて、ご家族の健康管理についてご配慮いただきたくよろしくお願いいたします。

さて、夏休みに、様々な分野で活躍する方々を紹介するテレビの番組を観る機会がありました。その中で興味を引かれたのは、昨年の東京パラリンピック車椅子バスケットボールの銀メダル獲得に貢献し、男子大会 MVP に輝いた鳥海 連志選手です。鳥海選手は、先天性の障害のために、3歳で膝下を切断しています。それでも、小さい頃から何事もお兄さんと同じことをしたいという思いが強く、自分ができることには何でもチャレンジするお子さんだったそうです。中学に入って車椅子バスケットボールをすることになります。その頃の映像には、パスされたボールが手からこぼれ落ちていく様子が映し出されていました。パスされたボールを捕ることができないのです。鳥海選手は、生まれつき指の数が、右手は4本、左手は2本。強く出されたボールは、その手をスルーしていきます。しかし、パスがつながらなければバスケットボールのゲームは成り立ちません。そこで考えたのが、パスされたボールを手当て、一度バウンドさせたボールをつかんで次にパスをするという方法です。一度バウンドさせたボールであれば、自分の思うようにボールを扱うことができることに気付いたのだそうです。できないから無理と諦めるのではなく、できる方法、よりよい方法を見付けるために繰り返しチャレンジするという気持ちで、「気付き」を生み、鳥海選手の力を高めていったのですね。



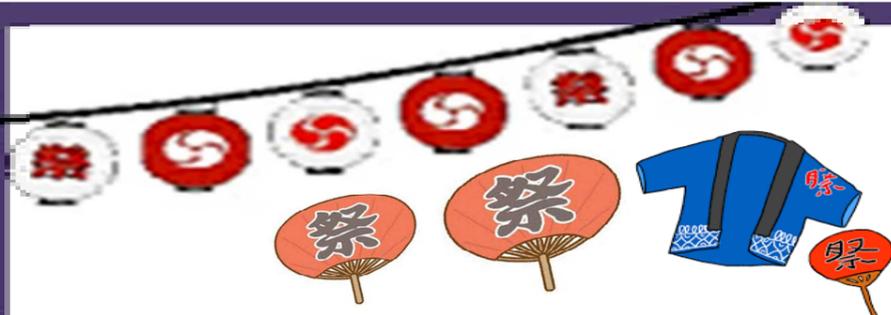
また、鳥海選手は、ある講演会で、次のように話をされています。「パラアスリートは、健常者の方と比べてできないことがたくさんあります。その中で、助け合いながら生きています。周囲で困っている人がいないか気を配り、助けを求めている人がいれば手伝う。こうした『気付きをもつこと』は、生きていく上でとても重要です。こうした「気付き」は、障害の有無に関係ないと思います。例えば友達が少し元気がないと思えば声をかけるとか、身近なことからはじめればよいのです。『気付き』をもって生活することは、社会のあらゆる分野で生きてくると思います。」周りの人との関わりを大事にしようとするときに生まれる「気付き」こそが、共に生きる喜び、自己実現を図ることの達成感へとつながっていくことを、車椅子バスケットボールに取り組み、その苦難を乗り越えていく中で見つけた言葉であったように思いました。

1学期の終わりに、5年生が、「大四小のことを校長先生に知ってもらうために、大四小で働く方々のことを調べて文にまとめるので（国語の学習）、ぜひとも楽しみにしててくださいね。」と声をかけてくれました。仕上がった文は、この夏休みに読ませてもらいました。大四小で働く人々について改めて調べたことによって、自分たちの学校生活との関わりについての「気付き」が、たくさん生まれていることがよく分かりました。そして、この「気付き」を自分の生活にどのように生かしていくのか、自分は何をすべきかを考えることができました。この学習での経験は、きっと、次の「気付き」につながることでしょう。

目標を達成するためには、いくつものステップをクリアしていく必要があります。学習や学校行事への取組においても同様です。まず、何ができるか考える（計画を立てる）、そして行動してみる。行動したら「振り返り」をして「気付きをもつ」。このことが次へのステップにつながります。一人一人の気付き力を高め、学級、学年、学校全体の気付き力を高め、互いを認め・高め合うことのできる大四小を目指していきたいものです。1学期の振り返りを基に、子供たちと共に、楽しい学びの実現に向けて、しっかりと前を向いて、様々なことにチャレンジしていきます。

2学期も、『ひとりひとりがかがやく みんなでかがやく大四小』の実現に向けて、共に生きる・関わりを大切にする、一人一人を大切にする教育活動の推進に、教職員が心を合わせて取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様の引き続きのご協力をお願い申し上げます。

大 四 祭



大四祭では、2年生から6年生がクラスごとにお店を出します。クラスで工夫することや協力すること、他の学年との交流を通して人との関わり合いを楽しみながら学ぶことをねらいとしています。感染症対策として、1,2,3組グループに分かれて実施しました。



1年生



グループごとにお店をまわりました。

ともだちとやくそくをまもって、たのしくおおよんさいのおみせをまわることができました。なかでも、6ねんせいのおみせがたのしかったです。とてもたのしかったので、もういちどおみせをまわりたいなとおもいました。

4年生



- 4-1 みんなのお店よんいち
- 4-2 楽しい4年2組ワールド～ミッションをクリアせよ～
- 4-3 ラウンド43

大四祭では、射的のルールを説明することやわりばしじゅうの輪ゴムをつけることをがんばりました。お客さんに説明をしながら、輪ゴムを交換したり、探したりすることが大変でしたが楽しかったです。来年も楽しい大四祭にしたいです。

一年生のときもすごくてたのしかったけれど、二年生になってお店をひらくので、一年生のときよりもたのしみにしていました。ほんばんは、お店とうばんがとてもたのしかったです。らい年も大四さいがたのしみです。

2年生



- 2-1 ワクワクたのしい2の1ランド
- 2-2 ワクワクドキドキランド
- 2-3 2-3スモールワールド

大四祭では、店番を友達と協力して頑張りました。来てくれた人の「楽しかった!」「面白かった!」などの声を聞くことができ、とても嬉しかったです。自分がお店を回ったときには、親切に挨拶をしてくれました。来年も楽しい大四祭を計画したいです。

5年生



- 5-1 ねらって ねらって 5-1パーク
- 5-2 よってき屋
- 5-3 5年3組からのSOS

3年生



- 3-1 3年1組だれでもできるワールドカップ
- 3-2 ミッション!たからさがしめいろをクリアせよ!
- 3-3 あてあてアドベンチャー、カラフル魚つり

ぼくのめあては、みんなできようりよくしあって、ぜん学年が楽しめる大四さいを作ることでした。ぼくは、あんないやくで、みんながわかりやすいあんないをすることができたと思います。大四さいがせいこうできてとてもよかったです。

6年生



- 6-1 ジャングルターザン、目指せ最速のろく木王者、目指せバスケの王
- 6-2 THE スーパーアスレブラザーズ・MATOCity・MO-JIを探せ!
- 6-3 AMDをクリアしろ! 6-3テーマパーク

最後の大四祭だったので、自分の仕事も精一杯頑張って、みんなが楽しんでくれるようにしました。声をかけたり、荷物を預かったり、案内係としての仕事をしっかりとできたと思います。お店を回るときは走らないように心がけ、走っている人には注意もしました。これからの行事も頑張っていきたいです。



理科 理科の学習と日常生活との関わりを見付け、学習の意義や有用性を感じられるような話合いの時間も、大切にしています。

図画工作 楽しく表現することの大切さを強く感じています。素直な思いや願いが表れ、それが交流できる場でありたいと思います。



～専科～
専科の先生の思いや願い



音楽 一人でも楽しいけど、友達と表現するともっと楽しい!心を開放し、みんなで合わせることよきや楽しさを実感できる活動を工夫していきたいです。

保健 元気な体を育ていけるよう、「体について学べる健康診断」と、心がつらい時に「安心して来室できる保健室づくり」を心がけています。



9月行事予定

			9/1 2学期始業式 4時間授業（給食あり）	2	3
5 全校朝会 あいさつ運動②始まり 身体計測（1年）	6 いじめ調査・安全指導 身体計測（2年）	7 6時間授業（6年） 水泳記録会（6年） 身体計測（3年）	8 音楽集会 5時間授業 水泳記録会予備（6年） 身体計測（4年）	9 身体計測（5年）	10 学校公開② 区一斉防災訓練（引取訓練）
12 全校朝会（プール納め） 身体計測（6年） オンライン保護者会（1・2年）	13 5時間授業（3・4年） オンライン保護者会（3・4年）	14	15 きょうだいグループ集会（1組） 委員会⑤	16 あいさつ運動②終	17
19 敬老の日	20 きょうだいグループ集会（2組） 5時間授業（5・6年） オンライン保護者会（5・6年）	21 4時間授業（2-3のみ5時間授業）	22 きょうだいグループ集会（3組） クラブ⑥（ひろばなし）	23 秋分の日	24
26 全校朝会	27 きょうだいグループ集会（予備）	28	29 児童集会	30	10/1
3 全校朝会	4	5	6	7	8 土曜授業

ハート すくすく ～大四小の生活指導～ 学習道具、宿題、忘れ物はないですか？



2学期が始まりました。生活リズムを整えて毎日を過ごすのはもちろんのこと、新学期はさらに次のことにも気を付けて過ごしてほしいと思っています。それは、忘れ物です。「国語の教科書を忘れました。」「宿題をやったのだけれど、家においてきました。」…その他にも、下敷きや消しゴム、鉛筆を削り忘れてくる児童もいます。忘れ物をしてしまうと、どのようなことが心配されるのでしょうか。まず、忘れた本人が様々な場面で困ります。学習が遅れることも考えられます。そして、もう一つ。友達に迷惑をかけてしまうということです。教師は忘れ物をした場合、そのまま放っておくことはしません。指導をして、できるだけ授業に参加できるようにします。その分、授業の時間を割きます。本人だけではなく、友達、学級全体の学びまで減ってしまうことにもなります。学校でも指導を続けます。

1学期に引き続き、ご家庭もご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。